

森 りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

討議資料

令和2年1月に岩手県北上市と姉妹都市提携を締結しましたが、直後に新型コロナが拡大し、積極的な交流が難しい状況です。そのような中、震災復興・交流促進の目的で、市民の方が北上市でマラソン大会を開催(6/26)してくれました。草の根レベルの交流は大変心強いものと感じています。

令和3年7-8月号 森りょうじ リポート。(105号)

ワクチン関連の情報は日々変更しており、行政側の情報と会報でお伝えする内容にズレがある場合があります。

■第30代市議会議長に就任！※裏面特集

5月の臨時会において市議会議長に選出されました。2年間の任期となりますが、流山市政と地方自治発展のために、全身全霊で職務に邁進していきたいと思っております。

顧みますと、平成15年に議席をお預かりしてから早いもので14年が経過しました。この間、地方議会は地方分権改革という大きな変革の中でその役割はさらに重要になっています。議会が一丸となり、時代や社会情勢の変化に対応した改革を進めることで、市民の方に頼られる組織を作り上げていきたいと思っております。



【議長執務室での作業の様子】

■令和3年第2回定例会ダイジェスト

第2回定例会(6/17~7/7)は、新型コロナ対策関連の補正予算4件を中心に執行部提案の議案17件を審査しました。とくにワクチン関連の諸課題(予約・接種・ワクチン供給など)に関して、活発な議論が行われました。引き続き議会と行政が一丸となり、ワクチン接種体制の強化を図っていきたいと思っております(裏面へ)。

■超党派の議員有志で、調査・研究中です！

- ① 東武線江戸川台駅東口周辺のまちづくり
- ② 子ども食堂への支援と機能充実(防災時の対応など)
- ③ 障がい児・者の活躍の場づくり・相談支援・生活支援

○1976年6月12日流山生まれ(45歳) ○家族:妻

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ

流山市立新川小、流山市立北部中卒業

日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社(管理部ほか)

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2011年4月 流山市議会議員二期目当選(4,508票)

○2015年4月 流山市議会議員三期目当選(5,830票)

○2019年4月 流山市議会議員四期目当選(8,961票)

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

森が動く①

【第2回定例会ダイジェスト】

定例会を総括する

今定例会は議案の他に、陳情・請願7件を審査しました。市民の方より提出された陳情の内容は、「地球温暖化対策（再エネ利用）」と「生理の貧困（生理用品の無償配布など）」と言われる社会問題を反映したものでした。議会でも積極的な議論の上、採択となりました。

現状と見通しは？

菅総理が述べているように、流山市にとっても「ワクチン接種が最大の経済対策」だと言えます。そのためにも全庁一丸となり、ワクチン接種体制の強化に努めています。

また当初は、他市と比べて接種状況の遅れが目立ち、また予約時の混乱などについても厳しい声を頂きましたが、時間の経過とともに改善をしたことで、声は落ち着きつつあります。

森のチェックポイント！

補正予算は、私が所属する総務委員会の中で審査しました。主な内容は常設会場設置と接種業務の委託経費（6.7億円）や10月以降も集団接種会場を5カ所開設する経費（15.4億）です。審査の中で、私は4点を質しました。

- ① ワクチン確保の見通し
- ② 異なるワクチンの混合接種の可能性
- ③ 現役世代の接種促進に向けた夜間接種導入
- ④ ワクチンパスポートへの対応見通し

報道でもあるように①については国から市町村へのワクチン配分量に不透明さが出ています。そのため、流山市も国と



積極的に交渉をしており、何としてでも一定数量の確保をしていかなければなりません。なお不足による②の対応については考えていないとのことでした。今後64歳以下の方へのワクチン接種が本格化する中で、③を継続して求めていきたいと思っています。（7/4時点の状況）

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

森が動く②

【議長として、目指す議会の姿】

流山市は平成20年頃に進めた議会改革の一環として「議長の立候補制」を導入しています。これは一般選挙と同様に、議長に立候補する者は目指すビジョンや具体的な施策を表明し、選挙で投票していただく仕組みです。かつて当市議会が全国一位の改革派議会と言われた背景には、このような取り組みによるところがあります。引き続き改革精神を継承し、皆さまの期待に応える議会像を目指していきたいと思えます。以下は所信表明で述べた概要版です。

デジタル化・ICT化の推進

全国の地方議会に先駆けICT化の推進を図ってきた市議会として、引き続きICT化を推進します。

議会運営の合理化・効率化、調査力の向上、ペーパーレス化、また議会事務局業務の効率化を図ることで、議会・議員活動の自由度を高め、議会組織の活動領域の



国会でも議会オンライン化を検討中

拡大に繋げていきたいと思えます。

常任委員会の活性化

「活発な議会」を目指す中で、4つの常任委員会の役割は大きいと考えています。その際、議会組織の中で委員会同士の連携や縦割りの弊害を解消することで、委員会活動の活発化や政策立案力の強化を図りたいと思えます。

議員連盟制度の創設

流山市は令和3年1月に20万人都市となりました。また新型コロナ禍において、市民の方々を取り巻く環境は大きく変化しています。そのため多様化・複雑化する行政課題に対して、会派や委員会の枠を超えて課題解決を行う取り組み事例が増えてきました。そこで、このような取り組みを支援するための制度を設け、議員活動の活発化を後押ししていきます。

【事務所】流山市中野久木 559-2
TEL & FAX: 7155-3236